

## 2019年度主な行事予定(8月～10月)

8 AUG

- 2日(金) 前期定期試験  
工学部・保健医療学部・未来デザイン学部・  
短期大学部:～7日(水)  
第2期定期試験  
薬学部3・4年生:～7日(水)
- 3日(土) 北海道日本ハムファイターズキッズドリームフェス  
～4日(日)、17日(土)、18日(日)(場所:札幌ドーム)
- 6日(火) 第2期定期試験  
薬学部1・2年生:～8日(木)
- 9日(金) 手稻ばわふる☆ぎっしらんど
- 22日(木) 高齢者元気サポート!
- 27日(火) 東北工業大学・北海道科学大学総合定期戦  
～28日(水)

9 SEP

- 14日(土) まちかどキャンパス  
(場所:紀伊国屋書店札幌本店1階  
インナーガーデン)
- 28日(土) 大学祭～29日(日)
- 30日(月) 開学記念日振替休日



10 OCT

- 5日(土) オープンキャンパス
- 12日(土) 父母懇談会(本学会場)
- 20日(日) 父母懇談会(地方会場)



# NEWS LETTER

Vol.37 / 2019 No.1 2019年7月5日(第207号)

- 工学部  
機械工学科 / 情報工学科 / 電気電子工学科  
建築学科 / 都市環境学科
- 薬学部  
薬学科
- 保健医療学部  
看護学科 / 理学療法学科 / 義肢装具学科  
臨床工学科 / 診療放射線学科
- 未来デザイン学部  
メディアデザイン学科 / 人間社会学科
- 短期大学部  
自動車工学科

YOSAKOIソーラン部 相羅さがら  
2年連続ファイナルステージ進出!!  
密着奮と感動の舞台をレポート!



## 公開講座開催のお知らせ ♦

- 8/29(木) 健康で安全・安心な食生活のために -暮らしの中の食品衛生-  
薬学科 立浪良介 准教授
- 9/4(水) 認知症の症状・原因と薬物治療について  
薬学科 三浦淳 教授 / 山佳織 講師
- 10/24(木) ジェネリック医薬品とは  
薬学科 山下美妃 教授

※上記は予定であり、内容が変更となる場合があります。  
※各講座の詳細、申込み方法などの最新情報については本学ホームページ(<https://www.hus.ac.jp>)でご確認ください。

## 7.28(日) オープンキャンパス開催!

北海道科学大学、北海道科学大学短期大学部では、高校生の皆さんや保護者の皆さんに、本学のことを詳しく知りたい方のために、オープンキャンパスを開催します。北科大に通う現役大学生が語る「在学生トークライブ」や、学科紹介、学食体験、学内キャンパスツアーなど内容は盛りだくさん! 大学のリアルに触れることができるこの機会をお見逃しなく!

10/5(土)・2020年3/20(金)にも  
オープンキャンパス開催予定!

参加申し込みは本学ホームページの専用フォーム、または、  
お電話(0120-248-059)にてお申し込みください。  
お申し込みはこちら▶ <https://www.hus.ac.jp/nyushi/apply/>



読者アンケートにご協力お願いいたします

今後よりよい誌面づくりのため、ぜひ読者の方のご意見をお寄せください。アンケートは、本学ホームページのWEB回答フォームよりご回答ください。  
※集計した回答は統計情報の作成及び広報誌制作における参考資料としてのみ利用し、回答者個人が特定されることはありません。

読者アンケート回答フォームURL ▶ <https://www.hus.ac.jp/info/enquete/>



# さがら YOSAKOIソーラン部 相羅 2年連続ファイナルステージ進出!!

## 密着レポート! 興奮と感動の舞台を

さわやかな6月の札幌を舞台に、踊り子たちの熱気あふれる演舞が繰り広げられる「第28回YOSAKOIソーラン祭り」が、6月5日～9日の5日間開催されました。今年で15回目の出場となる、北海道科学大学YOSAKOIソーラン部 相羅。昨年に引き続き今年もファイナルステージに進出、見事優秀賞を受賞しました。

昨年初めてファイナルステージに進出し、プレッシャーもある中で勝ち取った今年のファイナル進出。100名という大所帯をまとめる代表の向平洸一さん（メディアデザイン学科3年）にお話を聞きながら、その舞台裏をレポートします。

相羅は、毎年6月に開催される「YOSAKOIソーラン祭り」に参加し入賞することを目標に、約半年かけて作品づくりをしています。今年のテーマは「我が家」。このテーマには「社会人のチームや子供たちなど、いろんなチームがある中で学生らしい元気を伝えること、また、他に影響されず自分たちらしい演舞を貫きたい」という強い想いが込められています。

また、「YOSAKOIソーラン祭り」への参加のほか、札幌市内のお祭りや大学祭、さらに今年2月には台湾ランタンフェスティバルにて演舞を披露し、その活躍の幅を広げています。

▶代表の向平洸一さん

### 北海道科学大学YOSAKOIソーラン部のあゆみ

初出場は1999年。北海道科学大学前身の北海道工業大学時代、大成建設札幌支店との合同チーム「北海道と共に」で出場。初出場ながら、第1次審査突破と大健闘。その後「LG電子ジャパン」と名称を変更し、企業チームとして入賞。スポンサー契約の終了に伴い、学内で同好会を立ち上げ「北海道工業大学YOSAKOIソーラン部 相羅」となる。2014年、大学名が変更することを受け、北海道科学大学YOSAKOIソーラン部 相羅が誕生。相羅としては今年で活動6年目。



▲台湾遠征時の様子。

5月21日(火)

18:00

本祭まで1ヶ月を切った相羅のメンバーたち。代表が一声かけると、全員がすぐにまとまる「チームワークの良さ」が際立ちます。声を出すも練習のひとつで、準備運動から、演舞の最中も大きな声を掛け合います。演舞の合間に「踊りが走りがち! 足が渝ってないよ!」「カウント通りに踊って!」と指示が飛び、入念な調整が続きました。



△メンバーが手作りした巾着。

## ファイナルステージまでの軌跡

6月8日(土)

08:00

朝8時に西11丁目の待機場所に集合する面々。総勢100名のメンバーは6班に分かれ、各班ごとに演舞の最終確認やメイクなどを行います。今日の意気込みを聞くと「最初から最後までの“勢い”を見て欲しい!」「3年生なので、YOSAKOIも最後。このメンバーで踊れることをかみしめたい!」「今日は審査パレードがあるので、めいっぱい頑張ってお客様を引き込みたい!」「1年生なので緊張していますが、練習してきたものを出せるように頑張りたい!」などの声があがりました。



10:44

スタートとなった「一番街・丸井今井前会場」では、ところ狭しと熱氣あふれる演舞を会場の方々に届けました。



12:18

続いて「大通パレード会場 北コース」へ。審査パレードとなるこの会場は、大通西5丁目から10丁目まで、約5分間の演舞を5回連続で繰り返します。会場ではメンバーの声が波のように押し寄せ、あちこちから歓声が湧きました。晴天に恵まれたこともあって、演舞を終えた西10丁目では倒れ込む学生も。みんなが一丸となって「踊りたい!」という気持ちで駆け抜けた審査パレード。向平さんからは「もう、みんなでファイナルに行くしかないです!」との力強い言葉が。



6月9日(日)

10:48

YOSAKOIソーラン祭り最終日となる9日は、午前中にJR札幌駅南口広場会場、お昼に平岸会場での演舞を行い、メンバーは大通会場へ。

13:50

14時からの「大通パレード会場 南コース」の演舞前に、西3丁目の待機場所で代表がメンバーを集めます。昨日の審査パレードの結果は…? 「今年の相羅は…、ファイナル決定!!」その言葉を聞くやいなや大きな歓声が湧き起きました! ガツツポーズで喜ぶ姿、抱き合って涙を浮かべるメンバーの様子も。「練習時間があまりなくて大変だったけど、それでも自分なりに頑張った。ファイナルってことで、最高!」という声も。「まだまだこれからだよ! 僕らの気持ちを伝えるよ!」と向平さんは仲間たちの士気を鼓舞します。



21:06

高まる気持ちとともに、YOSAKOIソーラン祭りはいよいよファイナルステージへ。大通公園西8丁目のメインステージに相羅のメンバーが登場し、最高の演舞を披露しました。惜しくも大賞は逃したもの、相羅の元気と勢いと迫力を観客の方に届けることができた演舞となりました。メンバーが一丸となって自分たちらしく、熱く、楽しく、踊り通した5日間の舞台。来年の活躍も今から楽しみです!



▲衣装にも熱い思いが! 演舞曲の歌詞「夢超え、その先を描こう」を背負って。



▲相羅の演舞を観に、北科大生も応援に駆けつけました。



あたらしい価値を創る



北海道科学大学  
組織横断型活動推進プロジェクト

### +PIT(プラスピット)とは?

北海道科学大学では、「北海道の発展・成長に最も貢献する大学」を目指し、学内の教職員を起点に学内外の人や企業、グループと連携し、新たなプロジェクトに取り組むチームを、大学が組織としてサポートする活動 = +PIT (+Professional Innovation Team) を2018年から行っており、現在19プロジェクトが進行中です。

#### ▶ そのほかの進行プロジェクト

- ・T型フォード再生プロジェクト
- ・ていね夏あかりの新たな展開と地域連携活動
- ・前田キャンパス内の保育園設置

ほか全19プロジェクト

web site > [www1.hus.ac.jp/~pluspit/](http://www1.hus.ac.jp/~pluspit/)

### プロジェクト No.1

## 北海道の素材で 北海道のヘルスケアに貢献。



プロジェクト代表  
若命 浩二 准教授

薬学部 薬学科 応用薬学部門 薬理学分野 / 博士(医学)

1993年 北海道薬科大学大学院 薬学研究科 修士課程 修了  
2006年 米国テキサス州立大学 ヘルスサイエンスセンター 留学  
2014年 北海道薬科大学 准教授に就任(2018年、北海道薬科大学は北海道科学大学と統合)

### Chapter.1

## 衰退する養蚕業を救うために着目したのが「桑葉」の健康効果。 桑葉を使った新商品が、いよいよこの夏店頭に並びます！

以前、農学系の大学と共同研究をしていた際に、桑葉と蚕のシルクを研究している先生が「桑葉の栽培も蚕の飼育もすごく下火になっている。でも、そこには守るべき日本独自の技術があり、養蚕業を盛んにするにはどうしたら良いか?」ということを、真剣に考えいらっしゃいました。

もともと桑葉には糖尿病に効果があることが知られていたこともあり、健康素材として使えるのでは?という発想から、私たちは桑葉の抗メタボリックシンドローム効果に着目。そして、肝臓の脂質代謝に関する遺伝子Lipin1(リピンワン)の誘導効果を発見し、論文で発表しました。

この研究成果が大きな注目を集め、今年の7月上旬から桑葉入りの青汁が、大丸札幌店をはじめ全国の百貨店で販売されます。この製品は、北海道科学大学のロゴが入った「教授の研究室シリーズ」のブランドになります。

健康食品や化粧品は、薬学部としてはやや研究テーマが劣るように見られがちですが、法的な整備がかなり進んでおり、安全性試験や、生産・品質管理体制は医薬品などの厳格さが求められています。今回、大丸札幌店で商品が販売されますが、同じように百貨店でも厳しいチェックを受けるので、単に大学のロゴが入っているということだけではなく、科学的根拠という点で信頼性が高い素材といえます。

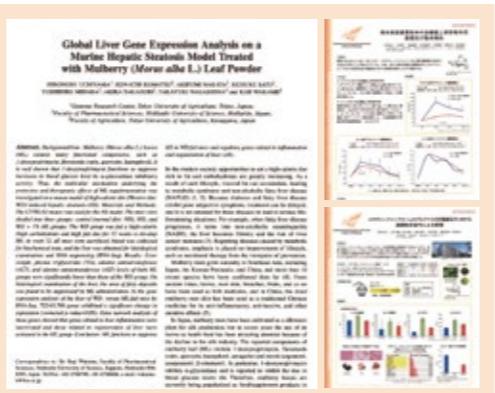
Lipin1誘導の発見までにはたくさんの苦労がありました。この技術をもとに、日本学術振興会の科学研究費助成事業(科研費)の補助も受けることができ、注目度の高さを感じています。

また、本研究の発端であった桑葉の栽培に関して、生産量が大幅に増え、研究結果が生産者の方に還元されることを嬉しく思います。

7月上旬から大丸札幌店で販売される「教授の青汁」。メタボリックシンドロームの予防が期待できる。



研究室には  
さまざまな  
生薬が!



▲桑葉に関する論文と学会発表資料



### Chapter.2

## 舞台は北海道! サラブレッドのプラセンタが、肌に潤いを与えます。

すでに商品化されているものに馬のプラセンタを使った美容液があります。これは、私のゼミにいた学生の父親が、札幌で化粧品メーカーを営んでいた縁があり、「北海道産の馬プラセンタ」で面白い素材を開発しようということが発端でした。

ヒトのプラセンタは、漢方薬や医薬品の分野で使われており、ある程度のデータがありますが、馬や豚のプラセンタは健康食品などに使われてきながらも、科学的なデータが乏しい」ということは、さらに研究を深めればより良い素材ができるのではないか?という発想から、取り組み始めました。

プラセンタはたんぱく質のかたまりなので、これを「酵素反応によりペプチド化」したことが私たちの新しい技術です。そこで得られたプラセンタペプチドについて、ヒトの皮膚細胞を用いてさまざまな効果試験を繰り返した結果、皮膚のハリやバリア機能を保つことが明らかになりました。

昨年から今年にかけて学会、論文での発表を行っており、今年は“健康食品”としてのプラセンタの効果を検証しています。



▲業界紙でも、「プラセンタのペプチド化」が大きな話題に。



▲そのままでは体内に吸収されにくいプラセンタのたんぱく質をペプチド化。原液を肌にぬる美容液に加え、メーカーでは今後、シミ取りなどピントの化粧品も開発予定。

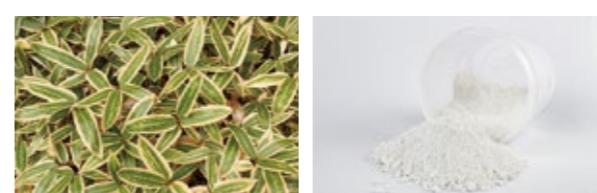


▲プラセンタ美容液「HPP-320」。肌が回復する期間は一般的に30日前後だが、HPP-320を使ったところ細胞活性化が進行。96時間後にうるおいのある肌に。

### 注目! 先生が次に手がける 「北海道素材」とは…!?

北海道産の「クマザサ」と中頓別産の「貝化石粉末」です。クマザサは、以前から健康食品として親しまれてきましたが、まだ成分や機能性について研究の余地が残っています。現在はクマザサ成分の探索や免疫、循環器系に対する効果の検証などを実施しています。

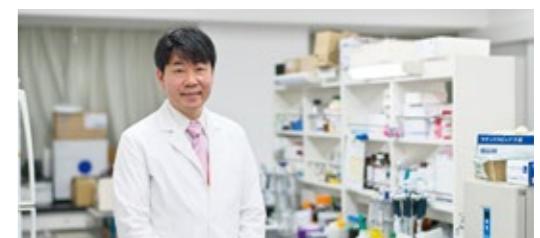
貝化石粉末は、これまで牛の飼料や畑の肥料として使われてきましたが、人体に有用なミネラル類が豊富である点に注目して、「化粧品原料」として研究開発をすすめています。



▲クマザサ

▲貝化石粉末

### 先生の想い。



北海道は、自然が豊かで特に農産物、天然素材の宝庫といえます。ですが、残念なことにこれらの素材を研究し加工する仕組みが十分整っているとはいえない。ですから、どうしても安い原料を本州に輸送して、本州の企業が加工して付加価値をつけることになります。

そのような意味では、北海道科学大学は薬学部をはじめとするヘルスケア、素材加工に強い学部・学科が揃っているので、天然素材の高付加価値化のために、これからも北海道の素材を生かした研究テーマに力を入れたいと思います。そのためにも+PITのバックアップは励みになります。

# 研究室から

先生の研究を  
のぞいてみよう!

新たな医療画像技術の提供で  
患者さんの治療負担の低減を進める、  
北間先生の研究室に伺いました。



66  
人工透析患者の命綱、「内シャント」を  
少しでも長く保つために  
血管の状態を光で計測。  
99

保健医療学部 診療放射線学科

北間 正崇 教授

日本では30万人を超える患者さんが、人工透析を受けています。人工透析（血液透析）とは、血液を体の外へ取り出し、綺麗にして体内に戻す治療方法ですが、それを行うためには、前腕部などに血液の取り出し口と戻し口を用意する必要があります。

透析を行う場合は、長時間にわたって血液を取り出し続けなければならず、太くて血流量の多い血管が必要です。血流量を満たすためには動脈が望ましいものの、動脈は深部にある上、血管も丈夫で針を刺すときに痛みを伴います。そのため血液透析を行なう際には、透析に必要な血流を確保するために、皮膚の表面付近にある静脈と動脈をつなげ静脈を拡張させる手術を行なっています。この静脈と動脈をつなげた状態のことを「内シャント」と呼びます。

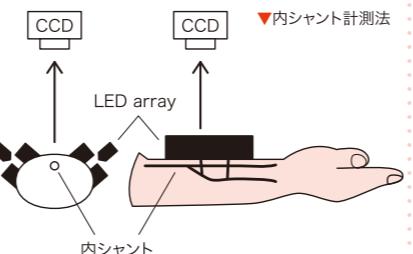
血液透析では内シャント近くに針を刺して、血液を取り出し体内に戻すという治療を行なっています。しかし、週に2~3度という頻度のため血管がだんだんと弱ってきたり、また、静脈に勢いのある動脈の血液を流すため血管自体にもストレスがかかり、だんだんと血管がつまり狭くなります。仮に内シャントが使えなくなると、新たな場所に作らなければなりませんが、患者さんの負担を考えると、なるべく今ある内シャントを長く使うこと、良好な状態を保つことが求められます。

血管が狭くなっていないかといった内シャントの状況を見るのは、医師や看護師、また透析を行う臨床工学技士などが、聴診器を当てて血液の流れる音を聞いたり、血液の振動を感じ取ったりすることで判断していますが、この方法の場合、検査者の経験によって異常発見の精度が左右されてしまいます。



そこで私は、血管がどのような状態なのかを、客観的に判断できるようなシステムを構築する研究に取り組んでいます。具体的には、患者さんの内シャント周辺に側面から光を当てることで、血管を下部から照らし、血管の太さや血管の内径がどの程度であるかを上部カメラで撮影するという仕組みです。この方法では、光の生体内拡散を利用して、前腕部に光を入

射することで、直接患部への圧迫がなく血管透視像を取得することができます。



現在は腕や血管の太さなど、さまざまな条件下でも血管透視像が取得できるかの調査に加え、装置のスマート化を進めています。6年前に作った装置に比べて大きさは12分の1に、重さは25分の1にまでコンパクトに改良することができました。次のステップは実際の透析患者の方を対象とした研究です。

この研究を始めたきっかけは、臨床工学技士として働く方たちの「透析患者さんの負担をなんとかしたい」という思いに触れたことでした。研究に取り組み始めてから10数年になりますが、実用化がようやく見えてきました。新たな医療画像技術で、人工透析患者の方の負担低減を目指します。

# 卒業生訪問

先輩の大学時代と  
これから聞く  
卒業生インタビュー

## File.1

株式会社パルス  
代表取締役社長  
小林 要 氏



### PROFILE

北海道三笠市出身。北海道薬科大学（現 北海道科学大学 薬学部）の10期生で、卒業後は病院薬剤師を経て、現在は道内で21店舗を展開するパルス薬局の運営などをを行う株式会社パルスの代表取締役社長。株式会社パルスと北海道科学大学薬学部とは「リスクマネージメント」や「患者様の満足度調査」など多岐にわたる分野で共同研究を実施。小林社長はこれまで、北海道薬科大学同窓会の副会長や父母会の監査役も務め、卒業後も大学と関わり合いながら後輩たちの成長を見守っています。

薬剤師になつて何をしたいのか、目標を持つて学んでください。



## 薬剤師を目指したきっかけ

高校時代スキー部に所属していて、膝のケガで入院したことがあります。その時に医療分野に興味を持ちました。医療分野で自分にできることはないかと考えた時に、理学療法士や臨床検査技師などさまざまな職業がある中で、化学が好きだったので、薬剤師を目指そうと当時の北海道薬科大学に進学しました。

学生時代は、小樽市桂岡や手稲近郊に住んでいて、大学にはいろんな都道府県の仲間がいたので本当に楽しかったですね。その仲の良さは今も継続していて、特に私たち10期生は同窓会をやるぞ!と言えば何十人も集まるような、良い仲間たちに恵まれています(笑)。

## 薬剤師のやりがい

卒業後は恵庭にある恵み野病院の薬剤部に入職し、病院薬剤師として約8年勤めました。その後、医薬分業の波を受け門前薬局として誕生したパルス薬局めぐみの店の薬局長として勤務しました。以降、株式会社マルベリーの取締役、株式会社メイプルファーマシーの社長などに就任。社名こそ変わっていますが、どの会社もぼくやく・竹山ホールディングスの系列なので、土台は変わらずずっと同じグループ内で頑張っています。

薬剤師になり32年が経ちますが、やりがいは今も感じています。病気につかかった患者さんは不安があり、病院の先生にお薬を飲んでくださいと言われますが、実際何の薬を飲んでいるのかわからないという方も多いです。薬剤師としては、患者さんの不安を解消し、服薬して治ってもらうことがいちばんですから。そこに「ありがとうございます」という言葉を添えていただかなければなりません。

## パルス薬局の強み

パルス薬局は、総合病院前の近隣に位置する大型の門前薬局が多く、市立札幌病院や札幌医科大学附属病院、手稲済生会病院などの総

合病院前を含めて、道内に全21店舗を展開しています。総合病院にはいろいろな科があり、さまざまな処方箋を扱っているので、門前薬局はトータルな薬学的知識と経験を積むことができます。そして、総合的な力をついた上で薬剤師それぞれの得意分野、自分のなかで極めていきたいスペシャリストの部分を磨いていく、そういう強みがありますね。



グループ全体としては、北海道に根ざして、医療、介護、医療機器、薬品の供給といったトータルヘルスケアを目指す企業であり、そのなかで、患者さまや利用者さまにいかに寄り添っていけるかを常々考えています。

## 後輩たちにメッセージをお願いします

学生たちに伝えたいのは、自分が志して薬学部に進学したからには、やっぱり努力は必要だと言うこと。だまっているだけで卒業できる学部では決してありませんから。もうひとつは、なんとなく薬学部に入学した、なんとなく病院に就職した…ではなく「目標を持つこと。行動を起こさなければ結果は生まれません。薬剤師として何をしたいのかを見つけて、自分自身の目指す薬剤師像に向けて邁進して欲しいと思います。

### 学生時代にタイムスリップ!



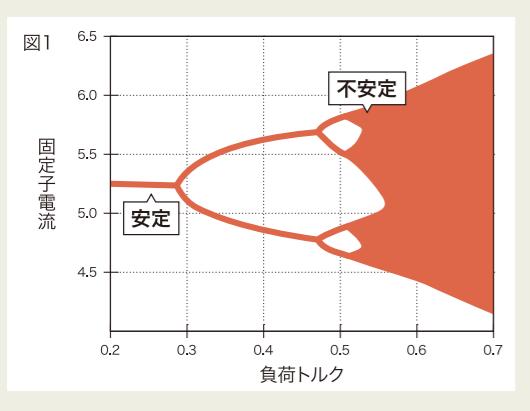
△学生時代の写真をお借りしました。今も変わらずに笑いあえる10期生の仲間たちです。

# 学科だより

学科の注目はコレ!

北海道科学大学の14学科から、今回は下記の4学科にスポットを当てて、学科の最新ニュースをお届けします。

今回は、電気電子工学科 建築学科 薬学科 メディアデザイン学科 の4学科をクローズアップ！



## 電気電子工学科に新任教員が着任。 伊藤佳卓助教の研究をご紹介します。

例えモーターで動く車のおもちゃの速度が、一定の速度ではなく20キロになったり、30キロになったり、速度が安定しないことがあります。これは、不安定な電流を与えてしまっていることが原因のひとつ。そこで、どのくらいの数値であれば安定し、逆に、どのくらいの数値であれば不安定なのかを測定、解析し、図解したのが分岐図です(図1)。この分岐図では横軸に負荷トルクの大きさ、縦軸に電流値を示しています。負荷トルクが大きいほど色々な値を取り不安定に。固定子電流はモータースピードに影響します。モータースピードは基本的に安定した方が良いので、この場合、負荷トルクは小さい方が良いことがわかります。

このように分岐図が得られれば、最適な負荷トルクを見つけることができますが、分岐を得るためには負荷トルクを変えながら何度も実験を行う必要があり、時間やコストがかかります。そこでニューラルネットワークという人工知能のシステムを用いて、数百回の計測が必要なものを、わずか数回の計測で分岐図を導くことができるシステムの開発を進めています。

この技術が完成すれば、何度も実験が必要なシーンで、計測結果を容易に導くことができ、新しい研究や新製品の開発が早まることが期待されます。



▲伊藤佳卓助教



▲「ヨーロッパでのサッカー観戦が趣味」と話す伊藤先生。写真はスペインで撮影。

## 建築学科

### 建築学科に新任教員が着任。 岩澤浩一准教授をご紹介します。

今年度着任した岩澤浩一准教授は、本学の卒業生であり、本学大学院修士を修了後、「公立はこだて未来大学」などを設計した株式会社山本理顕設計工場に務められた後、2009年に独立し設計の実務をされながら、2015年より東京理科大学の助教としても学生の教育に当たってこられました。

先生の研究テーマは「建築・都市空間のデザインに関する研究」です。これまで公共建築、住宅、商業建築、医療建築の設計を行い、2014年にはグッドデザイン賞(商業空間部門)を受賞されています。

先生に抱負を伺うと「建築設計を軸に建築という文化を学び、現代社会を見る力・生きる力を学生の皆さんと共に身につけることを目標とします。21世紀にふさわしい建築空間・都市空間の設計の実践・理論の探求を通じて故郷北海道の未来に貢献したいと思っております。」と答えてくれました。多くの実務経験者で構成されている建築学科の新たな一員として、これからよろしくお願ひいたします。

宮本商銀座本店(エトルデザインと協働、2014年グッドデザイン賞)▶



▲岩澤浩一准教授



▲公立はこだて未来大学研究棟(山本理顕設計工場にて担当)



▲山下美妃教授

▲金田京介准教授

## 薬学科

### 日本薬学会北海道支部 第146回例会で 本学教員と学生が各賞を受賞しました。

5月18日(土)、19日(日)に第66回北海道薬学会の一環として、札幌コンベンションセンターで日本薬学会北海道支部第146回例会が開催されました。

本学薬学科臨床薬学部門 臨床薬剤学分野の山下美妃教授は演題名「北海道地区における薬学教育モデル・コアカリキュラム(平成25年度改訂版)に準拠した実務実習に向けた取り組み」で医療薬学貢献賞(教育部門)を、基礎薬学部門 医薬化学分野の金田京介准教授は「アミノベンゼンスルホニアミドを含有した環状化合物の合成」で支部奨励賞(基礎薬学分野(化学系))をそれぞれ受賞しました。

また、大学院薬学研究科博士課程4年の新田侑生さん(指導教員:基礎薬学部門 生命科学分野 桜井光一教授、平山早苗准教授)は「脂肪細胞への分化に伴う脂肪滴の蓄積に対するペルオキシソームの関与」で学生優秀発表賞を受賞しました。

さらに、薬学部薬学科6年の竹島直哉さん(指導教員:応用薬学部門 薬理学分野 佐藤久美教授、高栗郷准教授)は「血管平滑筋細胞における時計遺伝子BMAL1の発現機構と役割解明」、深見春乃さん(指導教員:基礎薬学部門 生命科学分野 桜井光一教授、平山早苗准教授)は「ゲムシタピンによるミトコンドリア内膜電位上昇と細胞傷害への影響」で学生優秀ポスター賞を受賞しました。受賞した2名の発表は、日頃の卒業研究の成果をまとめたもので、優れた研究内容が高く評価されました。



▲左から竹島直哉さん、深見春乃さん

▲左から桜井光一教授、新田侑生さん、平山早苗准教授

## 未来デザイン学部 メディアデザイン学科

### 石狩市が発行する自転車活用計画書の表紙を、 メディアデザイン学科の学生がデザインしました。

石狩市が発行する「石狩市自転車活用計画書」の表紙を、メディアデザイン学科の学生がデザインしました。今回採用された表紙デザインは、本学メディアデザイン学科 小谷彰宏教授のゼミ生8名が担当しました。

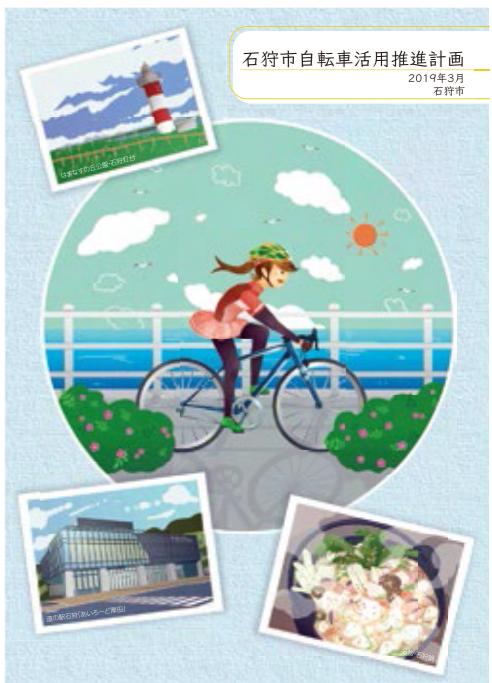
石狩市は自転車の利用率が全国平均より高く、独自のサイクリロードマップを制作しています。学生たちは、石狩市から配布されているパンフレットや、ホームページで公開されているマップを参考に、事前に観光情報や道の駅の情報をWEB検索などで調べました。そして実際にサイクリロードに出向き、ロケーションハンティングで写真資料を集め、休日に道の駅などをめぐり特産物やグルメの情報を集めるチームや、休日に道の駅などをめぐり特産物やグルメの情報を集めるチームに分かれ、分担して集めた

データをもとにイラスト班が制作した5作品を提案。1月21日(月)に行われた第2回石狩市自転車活用推進協議会において協議会委員の多数決により、メディアデザイン学科4年の大山真央さんの表紙デザインに決定しました。

また、この協議会は、本学都市環境学科の石田真二教授が会長となり、快適に自転車を利用できる環境を計画、整備することを目的として石狩市が開催しています。



▲石狩市自転車活用推進協議会の様子。



▲冊子は石狩市のホームページで閲覧できます。

次回は、情報工学科 理学療法学科 臨床工学科 診療放射線学科 人間社会学科 の5学科が登場。

## 活躍する学生たち

# 空手道部

押忍!

ダン!ダン!と武道場に鳴り響く足音、気合の入ったかけ声。

「空手ってこんなに迫力だった?」と驚いていた私たちのもとに来てくれたのが、部長の武井さん。黒帯選手がずらりと並ぶなか、武井さんは大学生になって初めて空手を取り組みはじめたのだそう。身をもって「初心者歓迎です!」と笑顔で話す武井部長に練習の様子と空手の魅力を伺いました。

DATA

〈部長〉 武井孝宏さん(メディアデザイン学科3年)  
〈所属人数〉 20名+マネージャー6名  
〈戦績〉 全道・全国常連校